

平成25年度 図画工作科の授業改善のための方針

1. 本年度の方策

①授業で生かす

・「図工が好き」な児童を育てる。そのために興味・関心を持って取り組める教材の精選につとめる。

・他律ではなく自律できるような判断力を養う。自分の目を見て、自分の頭で考えて、自分の手で創り出す。

・図工科で育てようとする資質や能力を具体的に育成するような言語活動の充実を工夫していく。

②全校で生かす

・教師や友達の発言を尊重して聞く姿勢を育てる。

・忘れ物や言葉遣い・聞く姿勢・発言の仕方等、全職員で協調して取り組み、泉の伝統としての良さを持続させ、失わないように努める。

・クラス内や家庭での児童を取り巻く環境の理解に努め、一人一人の児童の生きる力を後押しできるよう努める。

2. 児童の実態

- ・泉での小学校生活を通して、持ち物や言葉遣い等についてはかなりしっかりとクラスで指導され身についている。
- ・作業する時と話を聞く時の切り替えに時間がかかる。
- ・絵を描かせてみると自信がなさそうだったり、色をつけると自分の思い描いていたものとの距離を感じ投げやりになってしまう児童もいる。単純に「きれいな絵」が良いと思わずに自分のできる表現で楽しく描いていけるよう作品鑑賞などを通して固定観念を外していく必要を感じる。
- ・自分の気持ちを解放して作品に表現することがさらに必要と思われる。
- ・「図工が好き」という児童は、確実に増えていると思う。

3. 平成23年度の成果と課題（☆成果●課題）

- ☆様々な教材を扱い、楽しみながら創作し、創り出すことの楽しみは持ってもらえた。
- ☆昇降口掲示板は毎月季節の飾りや児童の作品そして各学年による詩の掲示等とバラエティー豊かに活用することが出来た。
- ☆それぞれの教材に対して、必要な基本的技術の理解・定着がはかれた。
- 作品を掘り下げてしっかりと創り出すための時間や指導が足りなかった。
- 作業時間確保のために後片付け・清掃等の時間が足りなかった。児童を育てるという面では、作業の時間との兼ね合いも考えてきちんと指導していきたい。